

第4回湖南省総合計画審議会

議事要約

日 時	: 令和3年1月15日(金) 午前11時~12時10分
場 所	: サンライフ甲西2階 大ホール
出席者	: 市長、委員17名
欠席者	: 6名

1. 開会（事務局）

2. 市長あいさつ（要旨）

第4回湖南省総合計画審議会の開催にあたり、挨拶を申し上げます。

審議会委員の皆さまには、11月予定していた審議会開催の延期についてご理解いただきお礼申し上げます。また、本日は忙しい中、またコロナ化における大変厳しい状況にも関わらず出席いただいたことに重ねてお礼申し上げます。

この総合計画後期基本計画策定は、私自身、市長を拝命する以前から進めていたものである。総合計画は市の将来を見据えた施策の方向性を、市民の皆さまに対して表明するものであり、その礎は本市に関わる多くの方々が議論を積み重ね、作り上げてきたものと認識している。このことを真摯に受け止めたうえで、今までの総合計画の方向性が適切であったかどうか、私自身の目で確認させていただきたいと考え、市長就任後の2か月、市議会を始め市民の皆さまと改めて意見交換を重ねてきた。その中でも、現在の社会情勢に見合う市民にとって最適な生活圏とは何かについて、今後も議論を深めていく必要があると考えている。また、原点回帰、湖南省の地域資源を見つめ直し再生すること、そして何よりSDGsの理念に基づき誰一人取り残すことなく、全ての市民が湖南省に住み続けることを誇り高く感じられるまちづくりに取り組むことが必要だと感じている。特に次世代を担う子供たちが、本市で健やかに育まれるよう行財政改革を断行し、必要な財源確保に努めるとともに、市民の目線に合わせ、行政が求められていることをしっかりと認識することが必要と考えている。

最後になるが、これからも市民、事業者など、皆さまの声に傾聴し、対話をもって寄り添いながら、総合計画を道標として顔の見える市政を地道に積み重ねて参る。

何卒、どうかよろしくお願ひ申し上げます。

3. 会長あいさつ

開会に先立ち一言挨拶を申し上げて始めたい。

全国多くの県下で新しい緊急事態宣言が出された。滋賀県においても深刻さが増していることは認識されていることだと思う。このような中でこの審議会自身も書面での審議や、オンラインによる市民からのヒアリングなど、従来の進め方とは全く違うプロセスを交えながら、今日最終的な策定をするところまでこぎつけた。いろいろな困難があったこと、とりわ

け事務局においては随分苦勞されたことと私自身感じている。皆さまのご協力、事務局のご尽力について一言感謝を申し上げて今日の会議をスタートしたい。

どうぞ最後まで審議のほどお願い申し上げます。

4. 議題

- 1) 第二次湖南省総合計画後期基本計画(案)について
- 2) 第二期湖南省きらめき・ときめき・元気創生総合戦略(案)について

●会長

ただいまより、議事を進行する。

まず、本審議会の成立について、事務局より報告をお願いします。

●事務局

本日、第4回湖南省総合計画審議会につき、委員17名の出席をいただいている。2分の1以上の出席があるため、湖南省総合計画審議会条例第6条に基づき、会議が成立していることを報告する。

●会長

ただいまの報告のとおり、総合計画審議会条例により、本会議が成立している。

それでは、議事に入るが、その前に皆様とこの会議の運営のあり方について、少し確認をしておきたい。今日の審議会は来週1月22日に行う予定をしている答申前の最終段階の会議になっている。重要な会議ではあるが前回の第3回の審議会と同様に、新型コロナウイルス感染状況を鑑みると長時間の会議になることは避けることが望ましいと考える。今日の会議についても概ね1時間から1時間半程度の時間でまとめていければと、議長として考え議事進行したい。また、前回までの議論と同様であるが、事前意見の聴取の機会も設定し、会議が終わってから書面で意見を出せるように用紙を手元に配布している。書かれた意見については、私と事務局の方で調整する形で会議を進め、時間の短縮により意見を出せないという形にはできるだけしたくないという配慮をとりたい。

以上、会議の時間を少しコンパクトにすることと、意見を書面で出させていただく機会を設けることについて異議はないか。

●全委員

異議なし。

●会長

会議次第の第3番目に書かれている議題の1つ目と2つ目、「第二次湖南省総合計画後期基本計画(案)について」と「第二期湖南省きらめき・ときめき・元気創生総合戦略(案)について」を審議する。議事の2つ目の総合戦略は総合計画の重点プロジェクトとして位置づけられている。双方が密接に関連していることから、議題の説明は一括して事務局から説明し、審議をしたいと考える。意見は両議題の事務局説明が終わってから受けたい。では事務局から説明をお願いします。

●事務局

(資料説明)

●会長

事務局から、二つの案について一括で説明があった。これらの議題について意見を出していただき、来週 22 日の市長への答申として渡すスケジュールではあるが、その間で修正や加筆が必要であれば、今日の議論を踏まえて変更をしていきたい。随分手を入れて、見栄えを含めてまとめており、なかなか言いにくいこともあるかも知れない。感想なり、ここは大事にして欲しいなど、コメントになるような意見をぜひ出してほしい。どちらの点からでも結構で、修正や加筆の要望があれば発言いただき共有していきたい。

いかがか。意見があれば挙手をお願いしたい。

●委員

小さなことであるが、資料 137 頁「地域福祉の推進」の中で、「施策 3 ボランティア活動の促進」がある。課題では、「ボランティアの育成や仲間の輪づくり、多様な活躍の場づくりが必要です。」とあるが、この「ボランティアの育成や仲間の輪づくり」の後に「地域活動を含めた」を足していただけないか。ボランティアは社会福祉協議会で登録されたものだけではなく、それぞれの地域でいろんな活動をされている個々のボランティアも沢山おられる。その多様な活躍の場づくりでは、地域活動を含めた方が良い。

●会長

137 頁施策 3 の課題で、「地域活動を含めた多様な活躍の場づくり」の表現に改めることで、ボランティアのイメージが実情に即して広がっていくのではないかと提案であった。内容やバランスから見ても加筆はした方が良い。加筆する形で事務局と調整して最終案を作成したい。いかがか。

●全委員

異議なし。

●会長

では、今の文言で、事務局と調整して出す。

他、何か意見はあるか。コメントや感想でも結構である。

私自身、この計画策定に関わり、大きなポイントは国が人口を含めたプランを立てて地方創生を考えようと言っている中に、地域全体のあり様を考えていく場合、そこだけが突破口になるのかなど、最初に政府が提案した時に少し疑問があった。今回総合戦略として第 7 章の中に位置付けられて、重点プロジェクトの推進として制御される中で、総合計画との統合と言うか、上手な配置ができ、政策のバランスが見やすくなったと強く感じる。国の人口ビジョンは、非常に厳しい数字がある一方で、第 1 期の各自治体の数値は V 字回復していくような甘い将来予測となっていた。足し算すると、第 1 期では各自治体が日本の人口が大きく増えるようなビジョンを出していた。そういうところだけを議論しても総合的なまちづくりには繋がらない。今回、全体のこと分かるような計画になったことは大変良かった。しかも、基本的なところはリアリティのある議論をすることになったのは非常に良かった。いろいろところでフューチャーセッションのような形で、将来世代がどの地域に関わるかの意見について、意見交換する企画を設けられている。本市でも中高校生にアンケートをとった時に、高校生が今まで私たちが考えていた像と違って、地域に根差す生活を今後していきたいという思いがあり、どこかへ出て成功する人ばかりでなく、そのような人たちが大きく増えていることに気づいた。これは私にとって大きな事であり、18 歳人口の世代の人たちが地域の主人公として活躍できるような条件を今後作っていくこ

とが、彼ら彼女らがアンケートで示した意思に答えていくことになるように強く思う。今後進めていく際には、若い今後の世代がきちっと関わっていけるような取組みや工夫が、実施の中では注力していただければと思う。大きくこのような事を感じながら、基本計画ならびに第2期総合戦略について受け止めてきた。綺麗に良くまとまって、いろいろな現代的な論点の追記も含めて、私としては随分スタートのところから見れば良い物が短期間で仕上がってきたと思っている。何か皆さまでもコメントがあればお願いしたい。

●委員

会長からあったように、写真やイラストが入って非常に分かりやすく、読んでいこうと言う感じを受ける。最後の第7章から、新しくSDGsが入って前回には無いような内容になっている。前と比べると難しいとは思いますが、一般の方が見る上では文字が多すぎるように感じた。

福祉関係では、昨年末に福祉協議会で食育や子ども食堂に取り組んでいる。市をあげて貧困の家庭を少しでも無くしていこうという施策をどう取り組まれるのか。例えば、栗東市では社会福祉協議会、各種団体と合わせて本格的に取り組んでいる。ふるさと納税を利用している。これらを参考にしながら湖南省も対策をしたら良いと思う。

●会長

修正提案ではなく、コメント感想を話していただいた。他に何かないか。

最初に時間を1時間から1時間半でやろうと言った手前、十分な議論をし尽くすことはそもそも出来ないような状況である。紹介したように意見を書く用紙を設けているため、必要であればお書きいただきたい。書かれた意見については事務局と調整する形をとっていく。帰ってから気づきの点があれば遠慮なく事務局の方に投げ返して欲しい。

以上のような形で今日議論をしてきたが、承認採決に移ってよろしいか。その前に発言があればお願いしたい。よろしいか。

それでは議案第1号「第二次湖南省総合計画後期基本計画(案)」について、一部修正の上承認いただく形にしたい。

承認される方は挙手をお願いしたい。

(挙手多数)

目視ではあるが、出席委員の過半数以上の賛成があったため、湖南省総合計画審議会条例第6条により、議案第1号「第二次湖南省総合計画後期基本計画(案)」について可決された。

引き続き、議案第2号「第二期湖南省きらめき・ときめき・元気創生総合戦略(案)」について、承認をいただきたい。

承認される方は挙手をお願いしたい。

(挙手多数)

これも目視ではあるが、出席委員の過半数以上の賛成があったため、湖南省総合計画審議会条例第6条により、議案第2号「第二期湖南省きらめき・ときめき・元気創生総合戦

略(案)」について可決された。

5. その他

●会長

「その他」について、事務局より何かあれば、報告してほしい。

●事務局

これからのスケジュールは、本日いただいた加筆修正の意見を反映調整した後、1月22日に湖南省総合計画後期基本計画に関する答申を会長から市長に対して行う。その答申の後、市で最終確認調整を行ったうえ、3月の市議会定例会に上程する予定である。

●白石会長

その他、委員の皆さまから何かあるか。

●委員

「事前意見の質問回答」の5番で回答されている「総合調整部局を作って施策の統制を図る」について、もう少し具体的に、例えばどんな事をするのか教えてほしい。その目標通り出来なかった時はどのように対応するのか、参考に聞かせてほしい。

●会長

事務局の回答の前に、私から申し上げたい。

市長へ答申を渡す際に、配慮しながら審議を進め、市の施策として計画を採択した後に取り上げて欲しい旨を、幾つか文章でお渡しするつもりである。その中に施策の進捗管理やPDCAサイクルに応じて内部の組織体制を変えていくこと、施策の仕様を勘案しながら柔軟に軌道修正などが必要であること、この計画の進捗管理を進めてほしいと市長に申し上げるつもりである。その上で事務局からももう少し詳しく説明をお願いします。

●事務局

進捗管理については、特に内部で段階的に議事等をチェックしていく体制を整えていく。市長も目標設定については、実現の可能性部分も言われており、総合戦略については内部で戦略会議のような形で定期的に行っている。四半期ごとの目標管理を行う。各部局の部長級、次長級の会議において、それぞれの部局で決めた目標に対して協議し、実現に向けて進めていくことになる。よろしくお願ひしたい。

●会長

質問に対して踏み込みきれていないこともあるが、目標を設定して達成に対して進捗管理を実施する手法が定着していく中で、どうやったら良い仕組みになるか、実際の目標の達成とキチンと繋がっていくのかどうか、その辺りの経験を積んでいくことになる。今の段階で委員に“人口目標がこれで達成されるのか”と言われると、自信があると個人的には申し上げることはできない。ただこの手法が意味のある運用としてどのように進めていけるのか、目標が達成されるのかというところから、逆にあり方を考え直すことも当然出てくる。委員の皆さまにも引き続き見守りながら、市役所も緊張感をもって新しい制度の運用を定着させてほしいと思う。

他何かないか。

●委員

今まで審議会に参加して思っていたが、なかなかしゃべりにくい。皆さん来ているが、しゃべっているのは4人くらいだ。皆さん思っていることはいろいろあると思うが“言っ
て的外れだったらどうしよう”があると思う。そうするとこの会議をやって意味があるの
かと思う。策定経緯に「6月19日に市民オンライン会議、9月3日からパブリックコメン
ト」とあるが、パブリックコメントは意見が出ないと思っている。わざわざ出す人がいる
のかなと思う。市民オンライン会議は私も参加したが、テーマに沿ってなら話す人がいて
良いアイデアが出てくる。今回の会議も5年後に新しい計画を作ると思うが、やり方を
変えた方が良い。話を聞くだけなら、書面を見てOKのサインを出したら良い。会議の在
り方を次から面白くとか、しゃべりやすい環境などに変えるようにしてほしい。そうすれ
ば20歳から40歳の人は参加しやすいと思った。

●白石会長

お話のように、いろんなところで経験しているオンライン会議で、今までよりも多くの
人が参加するとか、参加者層がずいぶん変わったと報告がある。これは自治体だけではなく、
大学関係やシンポジウムも様子が変わってきた。実質的な意見交換ができる仕組みと
しての活用があって良い。この審議会は法律に基づいて実施しているため、やらざるを得
ないが、意見を吸い上げて良いものを作っていくことについては、もっと工夫ができると
感じている。委員の発言は肝に銘じていきたい。議事録に残せるものなら、会議の在り方
等についての提言があったことを記録として残しておきたいと思う。

以上で本日の議案は終了になるため、私から最後に一言挨拶を申し上げる。

最後に2人の委員から発言があったように、やはり何をやるかと言うことと同時に、ど
のように議論して、どうやって進めていくかと言うことが、計画では重要な事であること
を、私も常日頃感じている。今回の参加や努力が今後のプロセスとして、議論して良かつ
たと思える運営の仕方を、市の方には心がけてもらいたい。引き続き皆さまが計画を育ま
れた当事者として、この審議会をやって良かったと、この後の何年かの間に感じられるよ
うな機会がいくつも生まれることを念じている。

最後になるが、委員の皆さま、今日採決された計画づくりについて本当にご協力ご尽力
をいただいたこと、心より御礼申し上げます。また、私や事務局と運営上のドタバタのた
ころもあったと思うが、そこはお許しをいただければと思う。どうも皆さまありがとうございました。
ではマイクを事務局の方にお返します。

6. 閉会

●事務局

会長様、議事の円滑な運営をいただき、どうもありがとうございました。

委員の皆さまにおいても、コロナ禍の中、また寒い中ではあるが審議をいただきありが
とうございました。3月議会の上程に向けて鋭意手続きを進めて参りたい。

今後とも何かと委員の皆さまにはご協力を賜るがよろしくお願ひしたい。また、会長の
言葉にもあったように、運営にも工夫しながら進めて参りたい。

それでは、これをもって第4回湖南省総合計画審議会を終了する。

本日は本当にありがとうございました。

以上